

ヘルスケアサービス社会実装事業

令和3年度予算額 7.0億円（5.2億円）

事業の内容

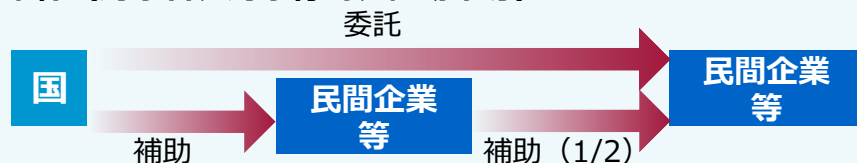
事業目的・概要

- ヘルスケアサービスを社会に実装していくためには、
 - ①企業や個人が予防・健康づくりに取り組む環境を整備すること
 - ②地域における持続可能なビジネスモデルを構築し、ヘルスケアサービスに取り組む事業者を増やすこと
 - ③エビデンスに基づく予防・健康づくりを推進する観点から、制度への反映に向けた検討を行うことが重要です。
- 「①企業や個人が予防・健康づくりに取り組む環境を整備する」ため、健康経営の促進や健康投資の活性化に取り組めます。
- 「②ヘルスケアサービスに取り組む事業者を増やす」ため、業種に応じたガイドライン整備の支援や、新たなヘルスケアサービスの事業性や効果の実証等に取り組めます。
- 「③エビデンスに基づく予防・健康づくりを推進する」ため、認知症共生等をテーマとする実証事業を実施し、保険者インセンティブ強化等の制度への反映に向けた検討を加速します。

成果目標

- 令和4年度までの3年間の事業であり、健康・医療戦略で設定されるKPIの達成を目指します。
- 令和4年度までの3年間の実証を実施後、その成果を踏まえて、健康経営優良法人制度等、疾病予防や介護予防の促進等に関連した施策への反映を検討します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

①企業や個人が予防・健康づくりに取り組む環境の整備



- 「すそ野拡大」を図るため以下に取り組めます。
 - ・健康経営銘柄・健康経営優良法人認定制度による健康経営の普及拡大
- 「質の向上」を図るため以下に取り組めます。
 - ・新たな健康課題に対応した顕彰制度の見直し
 - ・企業の健康投資に関する情報開示のあり方の検討

②ヘルスケアサービスのすそ野拡大と質の向上

- 「すそ野拡大」を図るため以下に取り組めます。
 - ・ヘルスケアスタートアップ企業への支援（InnoHub等）
 - ・地域におけるヘルスケアビジネスの創出のための実証を支援
- 「質の向上」を図るため以下に取り組めます。
 - ・ヘルスケアサービスの質を担保するための業界自主ガイドラインの策定を支援
 - ・PFS（Pay For Success:成果連動型民間委託契約方式）／SIB（Social Impact Bond:ソーシャル・インパクト・ボンド）の普及促進のための案件組成を支援

③エビデンスに基づく予防・健康づくりの推進

- 認知症になっても自分らしく暮らし続けられる共生社会の実現に向けたサービス等の効果検証事業として以下に取り組めます。
 - ・認知症の人・家族のQOL向上やインフォーマルケアコスト削減等の社会的・経済的効果について、事業者等による実証を支援
- 複数コラボヘルスを連携させた健康経営の効果検証事業として以下に取り組めます。
 - ・複数の企業、保険者や自治体が連携し、特定保健指導等を行う実証を支援